

令和7年度



坂井市



イクボス チャレンジ

1. イクボスってなに？
2. 特集1「福井県の現状」
特集2「正社員と非正規社員で広がる賃金格差」
3. 令和7年度イクボス宣言企業基礎調査
4. 活動レポート

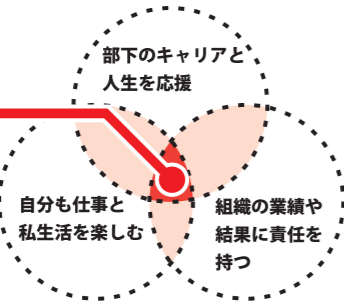
イクボスの働き方最新レポート
—— イクボスで、現場が変わる。

イクボスってなに？

イクボスとは、職場でともに働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことです。

イクボス

イクボスは、「人材（部下）を育成できる上司」の略です
※育児をするボスではありません



イクボス 10カ条

1	理解	ワーク・ライフ・バランスではなく、部下がライフ（人生・私生活）に時間を割くことに理解を示していること
2	ダイバーシティ	ライフに時間を割いている部下を差別・冷遇せず、ダイバーシティな経営をしていること
3	知識	ライフのための社内制度（育休・介護休暇制度など）や法律（労基法）などを知っていること
4	組織浸透	管轄している組織（課長なら課）全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること
5	配慮	部下のライフに大きく影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること
6	業務改善	育休取得者などが出て、組織内の業務が滞りなく進むための情報共有、チームワーク醸成、テレワーク化など、可能な手段を講じていること
7	時間捻出	部下がライフのための時間を取りやすいよう、会議や書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること
8	提言	ボスからみた上司や人事部などに対し、部下のライフを重視した経営をするよう、提言していること
9	有言実行	イクボスのいる組織や企業は、業績も向上するということを実証し、社会に広める努力をしていること
10	「鬼」より始めよ	ボス自ら、ワーク・ライフ・バランスを重視し、人生を楽しんでいること

出典：NPO法人ファザーリング・ジャパンHP

特集1

福井県の現状

福井県の女性管理職割合は14.2%で全国34位という結果であり、全国平均の15.3%を下回り、北陸3県の中でも低い水準にとどまっています

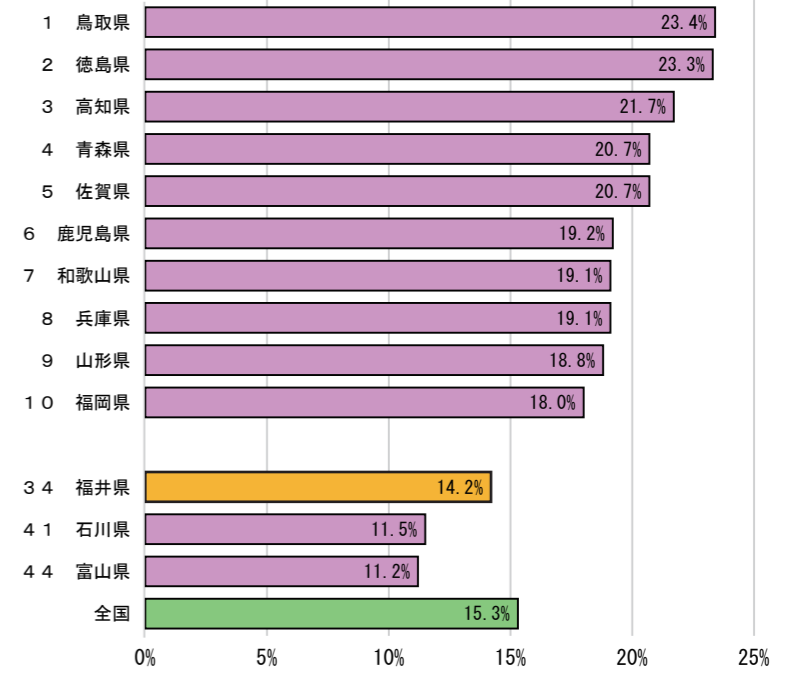
福井県は共働き率が全国トップクラスと言われる一方で、管理職層への女性登用は依然として進んでいません。その背景に、

- ・男性中心の役職登用の慣行
- ・非正規雇用の多さと職務格差
- ・女性の家庭負担の偏り

などの課題が挙げられます。

働く女性が多い県でありながら、意思決定層への参画が進んでいないというミスマッチが、福井県特有の問題として浮かび上がっています。

管理的職業従事者に占める女性の割合



出典：就業構造基本調査（令和4年）

特集2

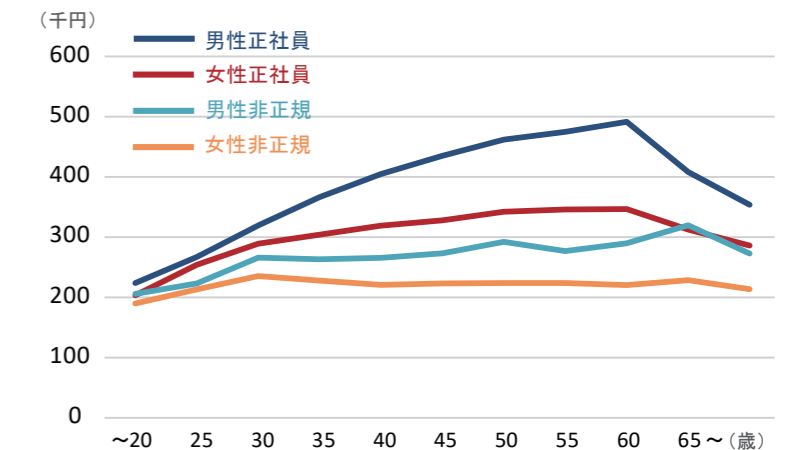
正社員と非正規社員で広がる賃金格差

福井県内の労働市場において、近年顕著になっているのが正社員と非正規社員の賃金格差の拡大です。

県内企業の多くは中小企業であり、人材確保のため非正規雇用を活用するケースが多いですが、男女問わず、非正規雇用の賃金水準は正社員の6割前後に留まっており、年齢が上がるほど差が広がる傾向があります。

特に女性は、結婚や出産、介護といったライフイベントを理由に非正規社員を希望するケースが多く、結果としてキャリアアップの機会が得にくい現状にあります。

男女・雇用形態別賃金カーブ



出典：賃金構造基本統計調査（令和6年）

イクボス宣言企業はどうしてる？

福井県の産業構造においては製造業や医療・福祉の仕事が多く、時間や場所の制約が強い職場が多いことも、働き方の柔軟性を難しくしています。こうした課題の解決に向けて、多くのイクボス宣言企業は以下のように取り組んでいます（令和7年度イクボス宣言基礎調査より）。

- 昇進や評価のルールをわかりやすくして、社員間の不公平をなくす
- 育休前後にキャリア面談を行い、復職の計画をしっかりと立てる
- 短時間勤務やフレックス、在宅勤務を組み合わせ、柔軟な働き方を制度化する
- 男性の育休を当たり前にして、家庭の負担を分け合う
- 女性管理職の割合を目標として設定し、候補者を育てる仕組みを作る

みなさんの職場には、無意識のうちに染みついた「当たり前」が存在していません。それが、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）です。

- ・営業は男性の方が向いている
- ・女性は細かい作業が得意だから事務職に
- ・若手は体力があるから現場作業を

こうした思い込みが人材配置や評価に影響を与え、結果として組織の可能性を狭めてしまいます。このようなアンコンシャス・バイアスは、私たちの身近なところに潜んでいます。

例えば、固定的な性別役割分担を前提にしていませんか。女性が管理職を目指す際に「家庭のことを考えると難しいのでは？」と見られたり、男性が育児に関わると「珍しい」と言われたりする場面があります。こうした偏見は、働き方改革を進める上で大きな壁となります。

また、年齢による思い込みや決めつけも、個人の実態を見えにくくしてしまいます。「若手だから挑戦的な仕事を任せる」、「経験年数の長い人は新しい技術を覚えるのが苦手だろう」年齢に関係なく技術をいち早く覚える人もいれば、若手でも安定した働き方を望む人もいます。個人の特性を見極めず、属性だけで判断することは、組織の成長機会を逃すことにつながります。

産業別に見ても、製造業や建設業は「男性中心」、介護や保育は「女性中心」といった構図が根強く残っています。しかし、それは本当に「適性」によるのでしょうか。実際には、男性の介護職員や女性のエンジニアも増えています。多様な人材が活躍することで、現場の課題解決力は高まります。

「当たり前」を疑い、見つめ直し、行動に移す——それが、イクボスへの第一歩です。

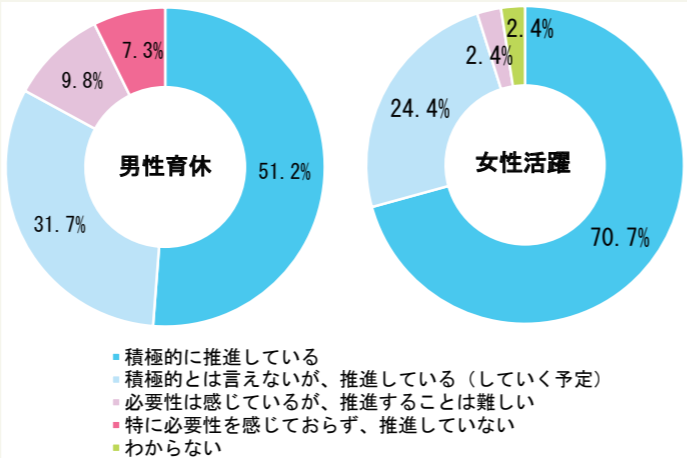
令和7年度
**イクボス宣言企業
基礎調査**

坂井市ではイクボス企業に対して毎年基礎調査を実施しています。令和7年度は81社中、41社から回答がありました。企業の「前向きな意識」と「実際に進める難しさ」が見えてきました。

01 男性育休・女性活躍推進の進捗状況

男性育休の推進状況について、「積極的に推進している」と回答した企業は51.2%、「今後推進予定」は31.7%となっており、合わせると8割以上の企業が前向きな姿勢を示しています。また、女性活躍の推進状況についても、「積極的に推進している」と回答した企業は70.7%と高い水準となっています。一方で、女性管理職の人数には業種による差が大きく、昇進の仕組みや代替要員の確保が課題として挙げられています。

意識	件数	割合 (%)
積極的に推進している	21	51.2
積極的とは言えないが、推進している(していく予定)	13	31.7
必要性は感じているが、推進することは難しい	4	9.8
特に必要性を感じておらず、推進していない	3	7.3
わからない	0	0.0

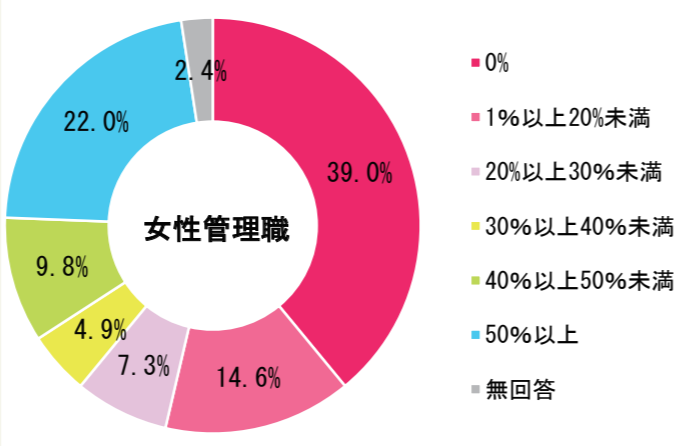


意識	件数	割合 (%)
積極的に推進している	29	70.7
積極的とは言えないが、推進している(していく予定)	10	24.4
必要性は感じているが、推進することは難しい	1	2.4
特に必要性を感じておらず、推進していない	0	0.0
わからない	1	2.4

02 女性管理職の割合

各企業の管理職全体に占める女性の割合を見ると、「20%未満」と回答した企業が半数以上を占め、「0%」の企業は全体の39.0%となりました。業種別では、医療・福祉分野で女性管理職の割合が高い一方、建設業や製造業では割合が低い傾向が見られ、業種間の差が顕著に表れています。

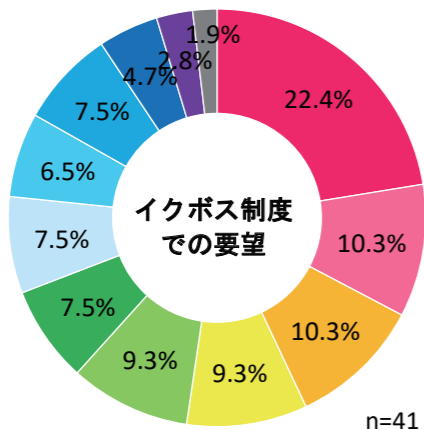
しかし、女性活躍の推進に対する意識については、ほとんどの企業が前向きな姿勢を示していることから、今後はその意識を具体的な行動につなげていくことが重要です。特に、管理職登用を見据えた人材育成、柔軟な働き方に対応する制度整備、評価基準の見直しなど、構造的な課題への対応が求められています。



03 求める支援制度

企業から最も多く寄せられた要望は、「働きやすい職場づくりを進める企業への補助金拡充」でした。次いで、「PR機会の充実」「ロゴマークの活用」「専門アドバイザー派遣」などが挙げられています。

こうした要望を踏まえ、新たに「イクボス宣言企業ロゴマーク」を作成しました。



- 働きやすい職場づくりを進める企業への補助金の拡充
- 市主催イベント等での企業事例発表など、企業PRの機会の充実
- 「イクボス宣言」ロゴマークの活用による認知度向上
- 企業の課題解決に向けた専門アドバイザーの派遣
- 宣言企業の取り組みを学生や大学などへPRする機会の拡充
- 坂井市の入札参加資格審査における優遇措置の拡充
- 宣言企業同士の意見交換会、異業種交流会などの開催
- 坂井市長や市幹部職員との意見交換の実施
- 企業と若者との意見交換会の開催
- イクボス宣言企業に対する表彰制度の導入
- 特になし
- その他

Report 01 「坂井市イクボス宣言企業」ロゴマーク



上司となる人物が両腕を広げる姿を通して、「支える」「受け入れる」「協力する」というイクボスの姿勢を表現しています。上部に描かれた3人のキャラクターは、「部下」「家族」「地域」など、多様な関係性を象徴しており、立場を超えて支え合う社会を目指す思いが込められています。また、坂井市の豊かな自然や日本海をイメージした青色をアクセントとして用いることで、地域の爽やかさや未来志向を表現しています。

このロゴマークは、イクボス宣言企業のホームページや広告媒体等でご使用いただけます。ぜひ積極的にご活用ください。



Report 02 イクボス宣言企業 × 将来世代応援プロジェクト
かぞくデイ未来会議に、イクボス宣言企業3社が参加しました！



日時：令和7年11月9日（日）
場所：福井県児童科学館
参加企業：イクボス宣言企業3社
参加者：高校生、大学生、新社会人、企業担当者など 計68名

＜参加企業＞
株式会社エクシート
東洋染工株式会社
株式会社ナカテック

若者が希望を持って働ける地域社会の実現と、企業の魅力発信による人材定着を目指す取り組みの一環として開催しました。イクボス宣言企業3社にご参加いただき、企業と将来世代と一緒に「働くこと」や「これからの働き方」について考える機会となりました。

当日の内容

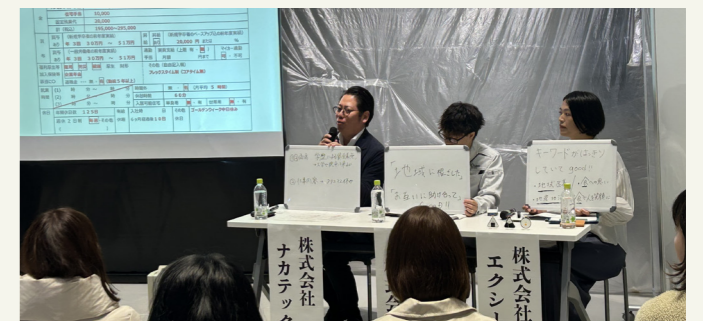
パネルディスカッションでは、企業担当者と若者がそれぞれの立場から意見を交わし、仕事も家庭も大切にできることや、多様な働き方が当たり前になる未来を共に考える機会となりました。また、展示コーナーでは、高校生が考案した「魅力的な求人票」を紹介し、企業と若者それぞれの視点をつなぐ場を設けました。

気づき

企業側にとっては、若者の価値観や仕事観に触れることで、柔軟な働き方やキャリア支援の重要性を再認識する機会となりました。また、次世代へのメッセージとして「一人ひとりが仕事や家庭と向き合いながら、多様な働き方」を選べる未来を、参加者全員で共に考える場となりました。

参加者の声

- （高校生）企業のリアルな話が聞けて、働くイメージが変わりました。
- （企業担当者）若者の意見を聞くことで、企業の人材採用や育成にもヒントが得ることができました。



学び女史プログラム

イクボス宣言企業で働く女性のためのマインドアップセミナー&交流会



講師：生熊 潤子氏

日時：令和7年6月18日（水）
 テーマ：自分らしいキャリアのKIZUKI～可能性を信じて～
 講師：生熊 潤子氏（坂井市出身／ANA ウイングス株式会社 取締役）

💡坂井市では、女性が前向きにリーダーや管理職をめざせるよう、女性自身の自信やつながりを育む機会として「学び女史プログラム」を開催しています。



講座では、生熊氏がご自身の客室乗務員としての経験や管理職としての歩み、さらに新規プロジェクトの立ち上げに携わった事例を紹介されました。その中で、環境の変化を「大きなチャンス」と捉え、前向きに仕事に取り組んできたこれまでの振り返られました。

また、渡辺和子氏の言葉である「置かれた場所で咲きなさい」を引用し、どのような環境にあっても努力を重ねることの大切さについて、ご自身の経験を交えながら語られました。仕事とプライベートのどちらも大切にしながらキャリアを築く考え方や、これからの時代に女性リーダーに期待される役割についてのお話は、参加者にとって大きな気づきとなりました。

講座の後半では、ファシリテーターを交えた意見交換を行い、参加者からの質問に対して、生熊氏が一つひとつ丁寧に回答されました。参加者同士の交流も生まれ、自身のキャリアや今後の働き方について考える有意義な時間となりました。

管理職・リーダーとして、部下とのコミュニケーションで意識することは？

まずは相手の話を聴き、否定しない姿勢を大切に。上から目線にならないよう、同じ立場に立つことを意識することで、相手の意見を“誘導”するのではなく、“尊重”する関わりにつながると思います。

“管理職がしんどい”という気持ちはどうすれば変わる？

仕事は立場に関係なく“お互い様”精神が大切。管理職も周囲に助けをもらいながら仕事をしていると意識することで、負担感よりも、一緒に取り組んでいるという協働の実感が高まると思います。

参加者の声



- ・自分の軸や大切にしている価値観を見失わずに、焦らず長い目で物事を考えていこうと思えるようになりました。
- ・悩んでいることがありましたが、お話を伺う中で「まずはチャレンジしてみよう」と前向きな気持ちになりました。
- ・私自身も「置かれた場所で咲く」という言葉が好きで、冒頭からお話に引き込まれました。傷つくことや大変なこともありますが、どのような環境にあっても、自分の軸を大切にしながら、他者への思いやりを忘れず、しなやかにありたいと感じました。



市内で活動する女性農業者グループです さかい農業女史

「さかい農業女史」は坂井市内で農業に携わる女性たちのグループです。市内のマルシェやイベントへの出店を通じて、地場産の農産物の魅力を発信する活動を行っています。

今年度は小学生と父親を対象にした料理教室を3回開催し、父子のコミュニケーションのきっかけにもなる有意義な時間となりました。

また、11月9日に開催されたイベント「かぞくデイ」では、「マルシェ&野菜釣り」ブースを出展し、多くの親子が来場しました。野菜価格が高騰する中でも、手ごろな価格で新鮮な野菜が並ぶマルシェでは、来場者が野菜を選びながら献立を考える姿が多く見られました。ブースでは、農業女史のメンバーが、簡単でおいしく作れるおすすめ料理について紹介し、好評を得ていました。



さかい農業女史インスタグラム
 さかい農業女史の活動案内・最新情報を掲載中！



坂井市役所庁内イクボス推進

コミニコ（コミュニケーション+笑顔）

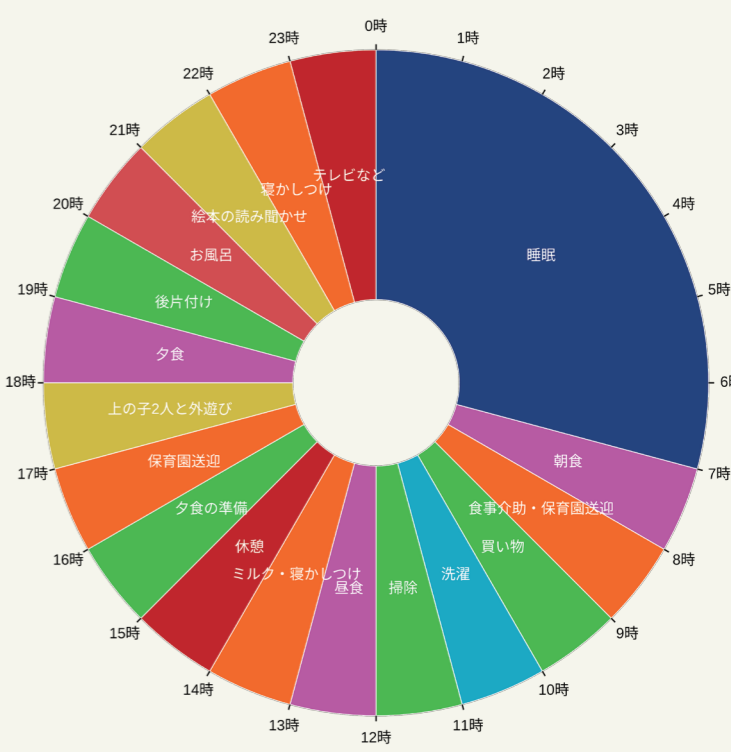
男性育休取得者による、男性育休推進のためのコミニコ



ワーク・ライフ・バランスの充実に取り組む職員が集まり、それぞれの過ごし方や思いを話し合い、笑顔になる場「コミニコ」を開催しました。

今回は、令和6年度に育児休業を取得した男性職員5名が集まり、当時の体験談や復職後の思いを共有しました。さらに、職場内の男性育休取得を一層促進するため、庁内用のマガジンを作成しました。

マガジンでは、各職員の育休中の24時間を円グラフで見える化して紹介したほか、育休前後での意識の違いなどのアンケート結果をまとめました。



💡育休取得者へのアンケート結果を一部ご紹介！

- Q. 育休取得後、働き方や意識がどう変化したか？
- 1位 残業を減らすようになった
 - 2位 家族との時間を優先するようになった
 - 3位 時間の使い方を意識するようになった

- Q. 育休取得の際、ありがたかったことは？
- 1位 同僚が業務をフォローしてくれた
 - 2位 上司の理解と後押しがあった
 - 3位 育休取得者の前例があり相談しやすかった



坂井市イクボス宣言企業

令和8年3月現在

75社
83事業所

IIO プロデュース株式会社
アサヒマカム株式会社
アップル流通株式会社
アプトケア・三国
ありがとう福井株式会社
株式会社イー・アイ・エル
株式会社イワタグループ
株式会社エクシート
株式会社江守情報
株式会社長田工業所
NPO 法人おっとふあーざー
川崎物流株式会社
株式会社カンパネラ
木下工業株式会社
株式会社グリーンシェルター
小杉織物株式会社
有限会社後藤塗装
斉藤設備機工株式会社
坂井警察署

坂井西警察署
坂井市管工事業協同組合
坂井市校長会
社会福祉法人坂井市社会福祉協議会
坂井市商工会
公益財団法人坂井市スポーツ協会
公益財団法人坂井市文化振興事業団
坂井市役所
三越建設工業株式会社
株式会社ザカモア
株式会社三和商会
株式会社シー・シー・ユー
芝政観光開発株式会社
島田整骨院
島田整骨院グループ株式会社
株式会社進土鐵工
社会福祉法人生喜会
New! 株式会社西洋菓子倶楽部
株式会社セルフネン

第一生命保険株式会社 福井支社
有限会社ダイケイ
株式会社タキダエンタープライズ
有限会社谷口屋
社会福祉法人親渉会 つぼみ保育園
株式会社つるや
株式会社テトテフ
一般社団法人 DMO さかい観光局
東洋染工株式会社
株式会社豊岡組
トヨシマセイ株式会社
株式会社ナカテック
日本海産業株式会社
株式会社ハート&ハート
医療法人博俊会 春江病院
株式会社福井銀行
福井県民生活協同組合 ハーツはるえ店
公益財団法人ふくい産業支援センター
福井信用金庫

株式会社福邦銀行
医療法人聖仁会 藤井医院
New! POLA モアの森
株式会社松川レピヤン
松本自動車販売株式会社
丸岡ファインテックス協同組合
公益財団法人丸岡文化財団
株式会社マルヤテキスタイル
株式会社三国
三国観光ホテル
三国観光産業株式会社
三谷コンピュータ株式会社
株式会社三星
モーターボート競走保安協会
株式会社 UACJ 福井製造所
社労士法人リヴル総研
株式会社リコー 福井事業所
嶺北消防組合

(50音順)

New! は令和7年度に新たに宣言された企業です

IKUBOSS

あなたの会社もイクボス宣言しませんか？

★「イクボス」で期待できる効果

1. 多様な働き方やワーク・ライフ・バランスを重視する有能人材の確保・定着
2. 従業員のモチベーション向上による、生産性(利益)の向上や離職率の低下
3. 女性が出産・育児後も無理なく働き続けやすくなり、キャリアアップをめざす人材が増加
4. 働き手に配慮した労働環境の醸成 など

イクボス宣言のメリット

宣言書を掲げ、働きやすい職場づくりに取り組む「イクボス宣言企業」として、社内外にPRできます。坂井市のホームページや広報媒体などで、宣言企業を紹介します。市が実施するイクボス推進に関するセミナー等へ、優先的に参加できます。(社員研修の一環としても、ぜひご活用ください)

「宣言となるとまだ少し迷いがある」という場合でも、今後実施予定のセミナー等にご参加いただくことが可能です。イクボス推進が、企業の利益や経営戦略の強化につながるとともに、社会貢献にも寄与する取り組みであることをご理解いただけましたら幸いです。

イクボス宣言に関するお問い合わせ先

坂井市役所 結婚応援課

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄 1-1
TEL. 0776-50-3018 FAX. 0776-66-2935

令和8年3月発行